

関西 SDGs プラットフォームの主な動き
【設立（2017年12月16日）～ 2018年度通年】

2019年3月24日

関西 SDG プラットフォーム事務局

1. 主な活動

（1）設立以来、SDGs 関連イベントは 100 件！

関西 SDGs プラットフォームでは、関西地域における SDGs の認知拡大に向け、2018 年度に 2 回のコアイベントを実施しました（大阪、神戸）。加えて、会員主体の SDGs 関連イベントを、プラットフォームが後援・協力等の形で積極的に後押しした結果、関西 SDGs プラットフォームが関わったイベント等の総数は、設立以来 100 件となりました（2019年3月24日時点）。具体的な活動実績につきましては、主催・共催・後援等実績一覧を参照ください。

（2）代表的な活動事例**①コアイベント**

2018年10月16日（火）、大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）にて、『関西 SDGs フォーラム ～ 健やかな未来を創る関西からのアクション』を読売新聞大阪本社と共に開催し、400名を超える聴衆が出席。身近なスポーツ・ヘルスケアをテーマに、持続可能な開発目標（SDGs）とその達成に向けたアクションが議論されました。鈴木大地スポーツ庁長官の基調講演『スポーツを通じた社会貢献～SDGsでひらく日本～』と SDGs の多様な視点からスポーツを捉えるトークセッションを通じて、「SDGs を自分事として捉えること」を考える機会となりました。

2 回目のコアイベントは、神戸市と合同で、2019年3月24日に開催します。



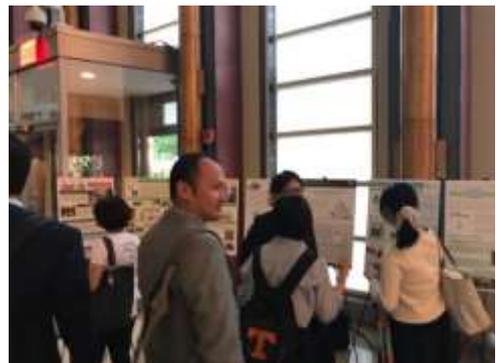
コアイベント（10月）鈴木大地スポーツ庁長官 基調講演



コアイベント（10月）トークセッション（写真：JICA 関西）

②国際舞台での発信（米ニューヨーク 国連本部）

2018年7月9日から18日まで、米国ニューヨークの国連本部にて、SDGs に係る国連ハイレベル政治フォーラム（HLPF：High Level Political Forum）が開催され、計46か国による SDGs への取り組み報告（ボランティアナショナルレビュー）や、環境や都市に関連するゴールのレビュー、200を超えるサイドイベントが行われ、会場には各国政府代表団や大学・NGO など多くの関係者が集まりました。



国連本部におけるプラットフォーム展示（写真：JICA 関西）

こうした中、7月16日夜（ニューヨーク時間）には、国連本部において、HLPFにおける日本政府主催セッションが開催され、2025年大阪・関西万博の魅力が発信されるのにあわせ、「関西SDGsプラットフォーム」の取り組みについてパネル展示・説明を行いました。

③ 展示によるSDGs啓発：エコプロ、図書館展示

2018年12月6日（木）～8日（土）、東京・お台場のビッグサイトで開催された『エコプロ2018』（産業環境管理協会・日本経済新聞社主催）において、プラットフォームは協力団体としてブース出展。今回は「SDGs時代の環境と社会、そして未来へ」がテーマに掲げられ、出展団体は650、延べ162,217人の来場者数を記録するイベントとなり、多くの来訪者にプラットフォームの活動をアピールしました。



エコプロ2018のプラットフォームブース（写真：JICA関西）



2018年8月25・26日に開催された「#thinkexpo2025 みんなの未来フェスティバル」においては、複数のプラットフォーム会員団体とプラットフォーム事務局のJICA関西が中心となりSDGsテーマゾーンを演出。未来の食生活や食品ロス、格差問題などSDGsの課題やアクションを、体験やゲームを通じて体感できる空間を提供しました。

このほかにも、大阪府主催・関西SDGsプラットフォーム他が主催・共催・後援等で参画した「SDGsってなんやろ？」と題したSDGs展示を3回に亘り行いました。

#thinkexpo2025 みんなの未来フェスティバル（写真：JICA関西）

④ 分科会活動

2018年3月22日、「関西SDGsプラットフォーム」の分科会第一弾として、ビジネスの視点からSDGs推進を目指す「関西SDGs貢献ビジネスネットワーク」（近畿経済産業局主催）のキックオフ会合を開催。その後、年間を通じて「SDGsキャラバン」と称し、関西地域および福井県の2府5県にて各県内企業のSDGsへの取り組みビジネス事例を発信するセミナーを開催しました。



分科会キックオフ会合（写真：近畿経済産業局）

⑤ 関西地域のSDGsの取り組み状況について調査開始

プラットフォーム会員ほか関西地域の団体のSDGsに係る課題認識を把握し、取り組みにあたってのニーズを把握するべく、まずは企業・経済関連団体を対象に「SDGsにかかる関西地域における取り組み状況の調査」（ウェブ調査）を開始。2019年度の早い段階で調査結果について広く公表する予定です。

2. 運営委員会 主な審議概要

(1) 第一回運営委員会 (2018年2月)

①運営委員会と事務局の事務分担について

・「参加団体の承認」は運営委員会の決定をもって承認とされているところ、会員数の順調な増加・入会承認の頻度増に伴い、事務局にて代理承認、運営委員会に事後報告とした。

・プラットフォーム主催のコアイベントについては運営委員会の承認事項とし、プラットフォーム共催のコラボイベントは運営委員長承認、プラットフォーム後援・協力等のコラボイベントや Web サイト・SNS 運営は事務局判断とした。

②ウェブサイトを開設・公開を承認。(ウェブサイトは2018年2月20日より稼働。)

※運営委員会のメール審議を今回より導入。

(2) 第二回運営委員会 (2018年4月)

①運営委員の交代を承認。

・中塚則男氏の関西広域連合本部事務局長退任に伴い、後任の村上元伸氏が着任。

②Facebook ページの開設を承認。(マンパワーの制約から HP・メルマガを先行活用、Facebook は未稼働。)

(3) 第三回運営委員会 (2018年5月)

・コアイベント (2018年10月) 骨子に係る審議。スポーツ・医療等市民に親しみやすいテーマで進める。

・万博誘致委員会との連携企画内容 (2018年8月) に係る審議。SDGs 展示等での参画推進。

・分科会活動 (関西 SDGs 貢献ビジネスネットワーク) につき各府県での SDGs キャラバン展開等報告。

・SDGs バッジの作成、関西 SDGs プラットフォームのロゴ作成の可能性について意見交換。

(4) 第四回運営委員会 (2018年10月)

・コアイベント (2018年10月) 内容、および後続コアイベント (2019年3月) に係る審議。3月のコアイベントは防災・レジリエントなまちづくりを軸に神戸市と合同で実施していく方向で進める。

・総会の実施に係る審議。3月開催に向け早めに日程調整を進めることとした。

・SDGs 基金設立に向けた勉強会の動き等の情報共有。基金に係る勉強会 (10月～) は今後の議論の推移を踏まえてプラットフォームとの関係を検討し、運営委員会に相談していく。

(5) 第五回運営委員会 (2019年2月)

・総会の実施に係る審議。議事の取り進め方ならびに報告・審議事項について審議。

・コアイベント (2019年3月) 内容に係る審議。防災をテーマに時宜を得た発信を行う。

・「SDGs にかかる関西地域における取り組み状況の調査」進捗報告。

以上